



覚書締結金融機関とのインタビュー企画

コロナのピンチを覚醒のチャンスに!

# がんばる金融機関インタビュー

主 催：中小企業支援委員会 共 催：広報委員会

## 第6回 兵庫県信用保証協会

日 時：令和2年9月8日（火）

場 所：兵庫県信用保証協会

出席者：本田好隆理事 畑中耕二経営支援室長 嶋田拓也副室長 西尾昌浩課長

T K C：小林雄介会長 吉川徹副会長 津田弘一中小企業支援委員長 園田センター長

Writer：宮崎敦史広報委員

### 【兵庫県信用保証協会様からのお願い】

コロナ禍終息後における融資のモニタリングにおいて、MISによる情報提供の件数のさらなる増加をお願いしたい。

以下、下記の質問に沿って本田好隆理事、畑中耕二室長、嶋田拓也副室長、西尾昌浩課長にお時間をいただき意見交換をしました。

### 「5月1日から始まった民間金融機関によるゼロゼロ融資への取り組みと現状の課題について」

本田 ゼロゼロ融資の始まる前からコロナ関連の融資が増加していきまして、保証承諾件数で3月は前年比163%、4月は208%、ゼロゼロ融資の始まりました5月は466%、6月は553%、7月は少し収まりましたが前年比385%でした。この状況に対応するために、本部職員による現場への応援、土曜日出勤などを実施しました。



本田好隆理事

津田 現在のような状況におきましても条件変更しているようなところは、やはり承諾はいただきにくいのでしょうか？

本田 一律に条件変更していることのみをもって承諾しないということではなく、今後の改善計画の内容等を精査したうえで、承諾している事例もあります。

津田 やはり計画内容とその支援体制が大事ということですね。

本田 そうです。

小林 コロナによる影響が特に大きい業種はありますか？

本田 観光、飲食業が大きいのは大きいですが、全般の業種で影響を受けているように感じます。

小林 とりあえず融資は受けたが、このコロナ禍の状況が落ち着いたときにどのように経営改善していくのか？ われわれもしっかりとした支援が必要になります。

## ■ 「TKCモニタリング情報サービスを活用したコロナ禍が終息した後の局面における金融機関の支援について」

小林 保証協会様でのモニタリング情報サービス（以下、MIS)の利用状況はいかがでしょう？

畑中 今回のコロナ危機で融資額は大幅に増加しています。この融資についてデフォルトを防ぐためにもしっかりとモニタリングが必要なのは間違いないことです。その際に信頼性の高いMISは有用なものだと認識しています。

ただ今回このコロナ禍によって増加した利用先52,000社のうちMIS利用先は400社です。やはり利用先が少ない印象があります。

小林 その点は大変申し訳ないことですが、書面添付の内容などTKC会員の仕事の内容についてMISでご確認いただくと大変ありがたいです。

吉川 保証協会様には、金融機関から紙でも決算書が送られてくるので、その点に関してはMISの情報は重複したものになってしまうのでしょうか？

畑中 そうです。申し訳ありませんが、現在の利用率の状況で、現場においてMIS利用のチェックを義務付けるのは難しい状況です。

津田 確かに初めに新しいインフラを導入するのはコストがかかります。ただ、例えば書面添付は粉飾していないことの証明にもなるものです。その内容をチェッ



畑中耕二経営支援室長

クいただくことで、粉飾チェックのコスト削減にもつながります。また非対面型の金融サービスの推進にもつながり、それに伴うコスト削減も多々あります。ぜひ今後の状況を見据えて、MISの利用増加に向けて協力をお願いしたいと思います。

小林 津田委員長が言うように、MISが長期的にはコスト削減につながり、より質の高い経営支援サービスの実現につながるのは間違いないことです。保証協会様からMISについて何か一言いただくと大変ありがたいです。

## ■ 「TKCモニタリング情報サービスの活用について」

吉川 保証協会様では金融機関から送られてくる決算情報のみでMISの情報を改めて確認することはあまりないのでしょうか？

西尾 そうですね。ただ試算表がMISにより送られている場合には、最終的に金融機関から回ってくる決算書の事前チェックに使わせていただいています。



TKC 左から津田委員長、小林会長、吉川副会長

小林 保証協会様でのMIS利用をもっと増やしていただくには、やはり最低でも1,000件くらいまでには、件数を増やす必要がありますね。

津田 保証協会様が金融機関各所に向けて研修を行うことがありますよね。その際にMIS利用促進に向けてTKC近畿兵庫会に少しお時間などいただけると大変助かります。

園田 はっきりと件数が少ないので、現状では利用に至らないとのメッセージを発していただくのも必要なかもしれませんね。

## ■ 「最後に」

津田 保証協会様で非対面型の経営支援の在り方について、何か考えていらっしゃるなどあるのでしょうか？

嶋田 現在検討中です。専門家派遣など、どのようにリモートな部分を織り込んでいくのか？ TKCさんの事例なども情報共有させていただきながら進めたいと思っています。

小林 MISは、信頼性の高い決算情報を効率よく提供できる仕組みだと思います。このMIS普及に向けて更なる連携ができればと考えております。本日はどうもありがとうございました。



左 嶋田拓也副室長 右 西尾昌浩課長

